

○松下議長 通告４番目、５番、田中宏幸議員、総括方式で質問を願います。

田中宏幸議員。

○田中議員 ５番、田中宏幸です。議長の許可を得ましたので、通告に従い一般質問をさせていただきます。

最初に、安全できれいな道路整備について、平成27年度に紀の国わかやま国体、和歌山大会の開催や京奈和自動車道の県内全線の供用開始が予定されています。市では、市長の施政方針で述べられたとおり、道路渋滞対策事業として京奈和自動車道岩出インターチェンジへのアクセス道路として市道根来安上線の整備を進めています。

また、防災災害対策事業としてクリーンセンター進入路となる市道押川根来線を最重要事業として平成27年度の完成を目標に取り組んでいます。

また、主要幹線道路において、朝夕の通勤通学時を中心に渋滞が多発していることから、年次計画を立て、交差点の改良工事を実施するということで、大変ありがたく思っております。交通量を緩和するため、平成24年４月に岩出市の南北を結ぶ幹線道路市道安上中島線が開通し、ほかの主要幹線道路の交通量が少なくなったように思われます。

しかし、以前から地域の中にある狭い既設道路は住居地から幹線道路に出ていくため、交通量が今も変わらない道路が多くあります。

１つ目の質問です。県道山村交差点から農免道路の山村交差点までの拡張工事について、農免道路の山村交差点周辺から南へ200メートルぐらいは２車線で歩道もあり、整備されていますが、県道粉河加太線の山村交差点から農免道路の交差点まで道幅が狭い上、粉河加太線から農免道路に通り抜ける車が多く、特に、山村交差点から南へ100メートルぐらいのところの山一集会所付近のコーナン付近では、大変見通しが悪く道が狭く、車のサイドミラーが接触する小さな事故が発生しており、大変危険な道路です。

また、この道路は山崎北小学校の通学路にもなっていますので、子どもの安全を確保するためにも、２車線でセンターラインが引ける道幅に拡幅していく計画はないのでしょうか、お聞きします。

次に、横断歩道を初めとする道路区画線の整備について質問します。

わかやま国体の開催が１年後に迫ってまいりました。岩出市としても大会の成功を目指して準備を進めているところでございますが、国体が開催されますと、国体の関係者、役員、選手、そして家族、友人とたくさんの応援の方々が岩出市に来ら

れます。私たちの岩出市が、県外から来られた方々にどのようなまちとして評価をしていただけるのが大切であります。県外の方々が岩出市にいられて一番最初に目にするのは町並みや景観、それと道路の整備状況であると思います。私たちもほかのまちへ行きますと、やはり最初に目にするのは町並みや道路整備ができているかであります。

そこでお聞きします。最近市内を走っておりますと、特に、横断歩道の手前に引いているダイヤモンド、横断歩道停止線が消えかかっているところがたくさん見受けられます。小学生の通学時を初め、歩行者にとっては横断歩道と交差点付近の白線が消えていますと大変危険で、事故が発生することもあります。すぐにでも新しく引き直せないものですか。

また、センターライン、サイドライン、ゼブラゾーンについても消えているところが見受けられます。事故が発生することもありますので、ラインの引き直しの計画はないのか、お聞きします。

また、本年度の予算の中で、市道補修事業や交通安全施設等整備事業とありますが、その中に組み込まれているのか、お聞きします。

2つ目に、中学校のクラブ活動にラグビー部の新設をということで質問させていただきます。

スポーツ競技の中で、ラグビーの魅力は健康な体づくりはもとより仲間とのチームワーク、味方や対戦相手を尊重するマナー、多くの困難を乗り越えていく勇気や強い意志など、スポーツ選手としてだけでなく、1人の人間として学ばなければならない多くの大切なことを教えてくれます。ラグビーは一人一人が責任ある行動を求められるものであり、1つのボールをつなぐというプレーに込められた信頼、そして、どんな困難にも立ち向かう勇気、瞬時の決断力、判断力が求められる競技であります。「one for all、all for one」1人は皆のために、皆は1人のためにという基本精神のもとに、個人はチーム全体のために自己犠牲をし、チームは一丸となって個人をサポートします。

また、試合終了のホイッスルをノーサイドといいます。ラグビーならではの表現ですが、単に試合終了を意味するだけであれば、ほかの表現のほうがわかりやすいはずです。しかし、あえて「ノーサイド」という言葉を使っているのには、ラグビーには独特の考え方があるからなのです。試合中は敵、味方として戦ってきた選手たちが、試合終了のホイッスルが鳴れば敵・味方なく同じラグビーを愛する仲間として双方の健闘をたたえ合うという意味が含まれているからなのです。

また、ラグビー選手は、試合において当然のことながら勝敗についてもこだわりを持ちますが、それ以上に試合内容が正々堂々と紳士的であったかどうかにもこだわりを持ち、非紳士的な行為は選手として最も恥ずべきことです。このことをノーサイドの精神といい、これこそがラグビー選手の誇りとするところであり、素晴らしい精神を持って親しいラグビー仲間となるわけです。

競争社会と呼ばれる現在で忘れがちな、お互いを尊重し、相手に敬意を払い、思いやる心をラグビーは教えてくれます。日本では余りなじみのないスポーツ競技ですが、世界の中では人気のあるスポーツでございます。2016年のリオデジャネイロで開催されるオリンピックでは、7人制ラグビーが男女ともに競技種目になっております。2019年には日本でワールドカップが開催されます。多くの皆様にラグビーのよさ、関心を持っていただくためにも、ラグビー部の新設のお考えはないのか、お聞きいたします。答弁をお願いします。

○松下議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○北村事業部長 田中議員ご質問の1番目、安全できれいな道路整備についての1点目、県道山村交差点から農免道路の山村交差点までの拡張工事についてお答えいたします。

現在、道路整備については、道路渋滞対策事業として京奈和自動車道岩出インターチェンジのアクセス道路であります市道根来安上線、防災災害対策事業としてクリーンセンター進入路となる市道押川根来線を最重点事業として、平成27年度完成に向け総力を挙げ全力で取り組んでおります。そのほか交通安全対策事業、生活道路整備事業の各事業を進めております。

議員ご質問の市道東山下中島線の山地区、約280メートルの区間は、県道粉河加太線から市道山水栖線、県道小豆島岩出線、国道24号への通過交通量が多く、道路幅員が約5メートルで、特に山一集会所付近はカーブになっており、対向時には注意が必要であります。また、通学路にも指定していることから、2車線での拡幅が必要であると認識しております。

つきましては、道路拡幅事業を進めていくには、沿道関係者の協力が必要不可欠であり、土地所有者の同意等諸条件が整えば、安全性、緊急性をかんがみ、計画的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、2点目、横断歩道を初めとする道路区画線の整備についてお答えいたします。

議員ご質問の横断歩道や停止線、ダイヤモンドにつきましては、公安委員会及び警察が管轄となっております。管理者である岩出警察署に問い合わせたところ、摩耗状況を調査確認し、補修を順次実施していくとの回答をいただいております。

なお、土木課では、道路区画線、ゼブラゾーン、交差点マークにつきましては、現地確認の上、交通安全対策費を活用して対応しているところでございます。

○松下議長 教育部長。

○中谷教育部長 田中議員一般質問2番目の中学校のクラブ活動についての1点目、中学校にラグビー部の新設をについてお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、ラグビーに限らず、スポーツは健康な体づくりを初め、仲間や相手を思いやる心など、豊かな人間性を身につけることができる活動であります。

しかし、ラグビー部を市内の中学校に新設するに当たっては、現在の運動クラブのグラウンドの使用状況や設備面等において課題が多くあります。

また、岩出市内には、幼稚園児から中学生を対象としたラグビーのクラブチームがあり、多くの大会で優秀な成績をおさめておりますが、市内中学生は7人、小学生高学年は10人となっており、チーム編成も難しい状況であり、また、教職員等の確保も難しく、ラグビー部を中学校に現在のところは新設する考えはございません。

なお、本市には、スポーツによる青少年の健全育成を図ることを目的とした岩出市スポーツ少年団があり、施設利用についての配慮や大会出場への補助などを行っております。ラグビークラブが加入していただければ、子どもたちのスポーツ種目の選択肢もふえ、ありがたいと考えており、今後も他の未加入のクラブチームとともに加入に向け働きかけを行ってまいります。

○松下議長 再質問を許します。

○田中議員 先ほどの道路拡幅計画であります。現在、市道根来安上線、市道押川根来線等たくさんの事業を行っていることは承知しております。大変頑張られていることだと思っております。先ほどの答弁で諸条件が整えばということなので、よろしく願いしておきます。

次に、横断歩道等道路区画線について再度お聞きいたします。

横断歩道は、公安委員会及び警察で警察署に聞いていただいたとの答弁でしたが、市から岩出警察署に申請していただけるのですか。それから、岩出市内の国道24号線、県道につきましても、道路区画線の消えているところをよく見かけますので、それぞれ国土交通省、和歌山県が引き直してもらえるのかお聞きいたします。

○松下議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○北村事業部長 田中議員の再質問にお答えいたします。

横断歩道や国道、県道の道路区画線等に支障がある場合は、市からそれぞれ岩出警察署、国土交通省、和歌山県に要望を行ってまいります。

○松下議長 以上で田中宏幸議員の一般質問を終わります。